

## ＊いこいの村 涸沼で、千葉県勢大いに羽ばたく＊

### 島宮光枝/坂内陸奥ペア戦 完璧! 大差で全国優勝!

坂内陸奥(みどり)は個人戦ともに優勝し女子特別賞(BG)も手に全国完全制覇に輝いた  
島宮光枝(佐倉)はシニア部門の個人戦でも第 3 位と二種目を受賞

やや身障を持ちつつも往年の力量を発揮した高山弘之(特個・美浜)は個人戦の G シニアで準優勝  
清水正子(千葉)は個人戦の G シニア部門で丁寧なスイングと攻めで勝ち取り第 3 位入賞した  
全国からの精鋭のなか惜しくも僅差の第 4 位と健闘した向井俊明(特個・八千代)

全日本ターゲット・バードゴルフ協会が主催する全国大会は第 6 回の京都・舞鶴の全国大会から第 7,8 回大会をコロナ禍による 2 カ年間の中止があって、今回は 3 年ぶりの第 9 回全国大会として、茨城県銚田市のいこいの村涸沼常設 9H コースと施設内に隣接する多目的広場を利用した仮設 9H コースで二日間にわたって競技が行われた。会場脇の涸沼は湿地帯で周辺には 200 種を超える野鳥や海水や淡水が混じる汽水湖で、海魚と川魚が生息する湖水は、ラムサール条約湿地に登録されているとのこと。選手達にとっては、この湖畔での守るべき大自然の中でのプレーが素晴らしいものとなり、思い出多い交流大会となったと思います。

■大会名称：第 9 回全日本ターゲット・バードゴルフ協会全国大会 IN 茨城

■主催：全日本ターゲット・バードゴルフ協会

■後援：茨城県教育委員会、茨城県レクリエーション協会、(株)ウインストン、茨城県いこいの村涸沼。

■主管：茨城県ターゲット・バードゴルフ協会及び、傘下 14 の協会。

■日時：令和(2022)年 10 月 16 日(日)、17 日(月)の二日間大会。

■会場：茨城県銚田市箕輪 3604 いこいの村涸沼常設 9H コース及び、施設内多目的広場仮設 9H コース PAR72  
第 1 日目は、二人組戦で男/男、女/女組の 2 部門別による OUT9 ホール常設コースを、IN9 ホールを仮設ホールの 18 ホール PAR72 を 2 ボールフオーサム方式のストロークプレーで行われた。

天気：晴れ、風速：4~7m/sec, 気温：19~23 度

第 2 日目は、個人戦で、男女別 G シニアの二部門、男女別シニアの二部門の計四部門別のストロークプレーで行われた。

天気：曇り時々霧雨、風速：2~4m/sec, 気温：摂氏 20~22 度

■参加選手：参加選手は基準は各県代表 8 名ということで 17 府県から男女選手 113 名(内訳男 72 名、女 41 名)の参集があった。選手達はいずれも各県の予選会を勝ち抜いて選ばれてきたという精鋭者揃いでした。

■食事会：第 1 日目の夕食は食事会で 17 府県の選手、役員が一堂に会いして、交流を図りました。会食は、懇親会に準ずるものでしたが、コロナ禍中ということで食事会の名称を採られたそうです。おしながきはとても良かった。ブランド牛「常陸牛」あり、旬を迎えた菜果実類の料理、関東 1 の酒蔵数を誇るという酒、ビールなどです。

更に又、コロナ禍がやや下向になると同時に政府からの諸補助金対策があり該当項目の繰上げ申請をされたようです。それによると今回の選手達にとっては大きな還元金の返還報告がありました。

■主な千葉県選手の成績：

{二人組戦} 女/女の部	優勝	島宮光枝(佐倉)/坂内陸奥(みどり)	40+41=81
	準優勝	川中恵美子(神奈川)/田島厚子(神奈川)	41+43=84
	第3位	山本純子(山梨)/幡野美紀子(山梨)	45:+43=88
	第5位	石井幸枝(神奈川)/西野マサ枝(神奈川)	47+48=95

{個人戦} 女子 G シニアの部	優勝	坂内陸奥(みどり)	45+37=82
	準優勝	長谷部百合子(岐阜)	43+42=85
	第3位	清水正子(千葉)	39+47=86
女子シニアの部	優勝	佐藤波子(秋田)	42+41=83
	準優勝	江刺知恵子(宮城)	44+40=84
	第3位	島宮光枝(佐倉)	45+40=85
女子特別賞 (BG 相当)		坂内陸奥(みどり)	45+37=82

男子 G シニアの部	優勝	波田野正信(京都)	42+37=79
		〈準優勝から第5位までは89で同スコアが4名あって年齢順になった〉	
	準優勝	高山弘之(特個・美浜)	45+44=89
	第3~5位	瀧口昭夫(山梨)ほか3名が	89
男子シニアの部	第4位	向井俊明(特個・八千代)	41+39=80

※ホールインワンはこの日千葉県選手では、#14 ホールで見事 清水正子 23m、向井俊明 26m が達成した。

※上記スコアの OUT,IN の詳細については現地音声収録なので合計を参照のこと。詳細は後日。

■今大会による次全国大会シード権獲得の千葉県選手達と参加者：

シード権獲得者達は下記左から右へ、坂内陸奥(みどり)、島宮光枝(佐倉)、高山弘之(特個・美浜)、清水正子(千葉)の4選手達と、その他今回の県からの大会参加者は、向井俊明(特個・八千代)、安藤昌平(柏市)、坂内信一(みどり)の男子4名、女子4名の計8名。



■コース設定は、これまでにない超難コース作りで距離 1,245m. 1つのホールに平均 2~3ヶ所の川状の離れの上更に、ゼブラゾーンが OUT,IN に4ヶ所ずつあり、コース幅 1.0~1.2m 極狭幅、籠奥のホールエリアは 1.5m で何を思ってこれを作ったのか問われているようです。最後の挨拶ではとうとう、大会委員長の荻野行広氏曰く「今回のコース設定は全部私に責任があります」と言っていたがその通りです。

でも、主管者のどうしても開催するんだ、選手を迎えるんだ、懇親会も食事会名目にしてまでも素晴らしい意気込みが見られてて、私どもも、絶対に大会の成功に向けて全選手が協力していた姿勢がとても印象残った。